

目標5 人生100年時代における生涯活躍社会の実現

施策項目18 社会教育の推進



■現状と課題

- 社会教育活動は、町民の暮らしをより充実させる上で重要な役割を担っています。しかし、多様な価値観や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、社会との関わりが希薄化しています。
- 社会教育事業においては、参加者が固定化している傾向にあり、福祉の観点からもより多くの方々の参加が求められています。
- 体験活動や町内外との連携事業により、子どもたちのコミュニケーション能力向上や課題の解決に向けて探究能力等の醸成を図り、社会性を培うとともに生きる力を身につける取組が求められています。

■施策の方向性

- 学校、家庭、地域と行政が互いに目標を共有し、子育て、保健、福祉、まちづくりなど多角的な視点で社会教育を推進します。
- ICTやSDGsなど社会情勢の変化やその求めに対応した体験活動や講座などを通じて、主体的に対応できる人材を育成します。
- 青少年層が地域における次代のリーダーとして活躍できるよう、体験や学びによる交流をとおして、社会性や主体性を育みます。
- 各世代の誰もがこれまでの生活の中で培われてきた経験や知識をまちづくりに活かせるよう、つながりを意識した「活躍できる場」を創出します。

目標指標	基準年度（R2）	目標年度（R8）
生涯学習センター年間利用件数	1,558件	2,500件

■施策の展開

- 子どもと大人のふれあい事業
少年団や少年会活動、町内イベント事業などに子どもと大人が参画し、ともに学びあう機会を提供するとともに、それらの機会を効果的に情報発信します。
- ともに学び、ともに活躍する機会の創出
異世代が交流しながら学びや事業に参画できるよう多様な機会を創出し、生きがいにつながる取組を推進します。
- 地域の担い手づくり
誰もが地域の担い手であるということから、町の抱える課題を自分事として考え、まちづくりに参画する意識を醸成します。

目標5 人生100年時代における生涯活躍社会の実現

施策項目19 文化活動の推進



■現状と課題

- 芸術文化の振興は、町民に感動や生きる喜びをもたらし、心の豊かさや潤いのある生活に資するもので、地域創生のためにも極めて重要です。
- 豊かで生きがいに満ちた暮らしと地域文化の継承、創造に向け、優れた芸術文化に触れる環境を整備するとともに、文化が見える地域づくりを進めています。
- 芸術文化活動を行う町民が自主的に取り組むことができるよう関係団体と協働する必要があります。
- 町民が気軽に文化に触れることができる機会を設けることや、芸術文化への理解を深める機会を作ることが必要です。

■施策の方向性

- 地域の優れた芸術文化活動を支援します。
- 日頃、触れることができない芸術文化作品を提供します。

目 標 指 標	基準年度（R2）	目標年度（R8）
芸術鑑賞会の開催回数	0回 ※コロナ禍のため予定した鑑賞会が中止	1回以上

■施策の展開

- 芸術文化に接する機会の充実
町民文化祭など、日頃の成果を発表できる機会を設け、芸術文化に興味を持ち自らも取り組める機会の提供を行います。
- 芸術鑑賞会の開催
日頃、触れることができない演劇や音楽会などの芸術鑑賞会を開催します。
- 芸術文化活動への表彰
芸術文化活動において優れた成績を収めた個人や団体を表彰することにより、芸術文化の振興につなげます。
- 教育文化振興助成による支援
教育及び芸術文化において優秀な成績を収め、北海道及び全国大会等に参加する団体及び個人の活動を評価・奨励するために、参加にかかる経費を助成します。

目標5 人生100年時代における生涯活躍社会の実現

施策項目 20 文化財の保存及び活用の促進



■現状と課題

- 町内には、丸山噴泉塔群等の天然記念物や旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋梁群等の有形文化財、70 か所以上の埋蔵文化財包蔵地が所在するほか、町民等から寄贈された多数の郷土資料が保管されています。
- 関係機関、団体等と連携し、適切な保護・保存を進めるとともに、積極的に情報発信や展示等の活用を行い、町民が本町特有の自然環境や歴史文化等を学ぶ機会の充実を図る必要があります。

■施策の方向性

- 町内に所在する文化財や郷土資料を適切に保護・保存するとともに、有効的な活用を進めます。

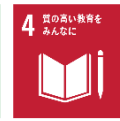
目標指標	基準年度（R2）	目標年度（R8）
特に貴重な文化財の指定等	町指定文化財 4 件 町登録文化財 3 件 町保存樹木 3 件 国登録有形文化財 9 件	対象文化財の掘り起こしと指定等の検討

■施策の展開

- 町民に対する文化財保護思想の啓発
町内の貴重な文化財に関する情報発信等を通じて、町民に対する文化財保護思想の啓発を図ります。
- 文化財の適切な保護・保存と活用
法令に基づいた埋蔵文化財の保護・保存や、特に貴重な文化財については指定等を検討します。
- 郷土資料の公開・活用
収蔵している郷土資料の整理を行うとともに、公共施設等における展示を進めます。
- アイヌ文化に触れる機会の創出
関係機関やアイヌ文化伝承者等と連携し、実際にアイヌ文化に触れる機会を創出するとともに、イオルの森の維持管理と有効活用を図ります。

目標5 人生100年時代における生涯活躍社会の実現

施策項目 21 スポーツ活動の推進



■現状と課題

- 少子高齢化の進行や健康体力づくりへの関心の高まりに伴い、スポーツに対するニーズが多様化しています。一方で、子どもや成人の体力低下やスポーツ離れが進んでいます。
- 地域のスポーツ活動は、町民の体力や健康の保持増進だけでなく、地域コミュニティの維持にも重要な役割を果たしていますが、参加者の固定化や参加人数が減少傾向にあります。
- 町内のスポーツ施設は、多くの施設が供用開始から30年以上が経過しており、計画的な整備が求められます。

■施策の方向性

- 町民だれもが、身近にスポーツを楽しみ、生涯にわたりスポーツ活動に親しめるよう、地域で活動する人材や団体を育成し、地域コミュニティの維持に取り組みます。
- 町民の自主的な参加と健康・体力づくりの機会の拡充や子ども自身が体を動かすことの楽しさや魅力を伝えながら体力向上を図ります。
- 施設の計画的な修繕、更新に努め、施設の効率的な運営に取り組みます。

目標指標	基準年度（R2）	目標年度（R8）
町内小学生（1～6年生）を対象とした少年団活動加入率	59.3%	70.0%
スポーツセンターの利用者数	23,294名	30,000名

■ 施策の展開

- スポーツ活動の推進
 - 幅広い年代で誰でも取り組むことの出来るスポーツ活動の普及や活動量計を活用しながら運動習慣の定着を図ります。また、その活動がコミュニティの形成に繋がるような環境整備に努めるとともにスポーツに関する大会や各種教室の開催などに取り組みます。
- スポーツ団体の支援・指導者人材の育成
 - いつでも身近にスポーツに取り組むことが出来るよう必要な指導者の確保や育成活動を支援します。
- 計画的な施設整備の実施
 - 施設の安全性の確保と競技者人口等のスポーツ施設を取り巻く環境を考慮しながら、計画的に施設の修繕、更新を進めます。

目標5 人生100年時代における生涯活躍社会の実現

施策項目 22 生涯にわたる学びの推進



■現状と課題

- 本町では、学びを始めるきっかけづくりを進め、仲間とつながりながら楽しく学び、学んだことが活かされ、生涯活躍できる「生涯学習によるまちづくり」を進めています。
- 町民一人ひとりが、生きがいをもって豊かな人生を送ることができるよう、幼児期から生涯にわたって学び、他者と高め合い、学びを深めることが重要です。

■施策の方向性

- 超スマート社会やグローバル社会などに柔軟に対応できるスキルを身に付けられるよう、多様な学習機会を提供します。
- 楽しみながら学ぶ機会を提供することにより、幼児から高齢者まで多様な世代が集い、学び合える機会を提供します。
- 学んだ成果を発表、共有する場づくりや学んだことを活かして、誰もが生涯活躍できる機会を提供します。

目標指標	基準年度（R2）	目標年度（R8）
生涯学習センター施設入館者数	304,903人	450,000人
図書館の1日平均貸出し冊数	117冊	130冊

■施策の展開

- 生涯学習センターの充実
学びの拠点である生涯学習センターの適切な運営に努めます。
- 図書館における学習機会の提供
多様な学びに対応できるよう蔵書や資料の充実に努めるとともに、社会情勢の変化や町民ニーズに対応した図書館サービスを行います。
- 博物資料館の活用
ひがし大雪博物資料館においては、利用者のニーズにあった講座の提供と展示及び調査研究を行います。
- 学んだ成果を発表、展示、共有する場づくりの推進
日頃、サークル活動などを通じて学んだ成果を発表し、共有する場として、生涯学習センターを中心に文化祭等を実施します。